

B部会事例

宮前幼稚園・宮前おひさまこども園

亀ヶ谷元讓

Hくんについて

- 年長へ進級後、スクールバスのバス停が同じ年中児のA君と仲良くあそぶ姿がある。
登園後は毎日、年中児のA君がクラスまでお迎えにきて一緒に遊びに行く日が続く。
- 進級から2ヶ月、6月になっても毎日A君と過ごす。
クラスの中での友だち関係が広がっている様子は見られない。

保育者の思い

クラスの友だちとも遊んで欲しい

保育者のH君への捉え

- クラスに馴染めない子
食事中などクラスで過ごす時間もとても静か。会話をしている様子も見られない。笑顔も少ない。
→クラスの時間が楽しくないのかな？
- もっと自己発揮できるようにしてあげたい。
- クラスの子と一緒にあそぶ楽しさも感じてほしい。繋げてあげたい。

H君を1週間、
徹底的に追ってみよう！

年中児のA君の手には自分で作った剣のアイテム
アイテムを手に園内の様々な場所を探検

剣を持って探検に行くが、
作りが弱くて何度も部屋に戻って補修
工作が得意なH君が補修を行なってあげる

再び、森の中へ

H君の膝をよく見ると、
セロテープが貼ってあった

森の中で壊れてしまっても、
H君の膝に貼ったセロテープのお陰で
部屋に戻る必要なく補修作業を行える

ダンゴムシを発見！

剣の中に入れて持ち帰ろうと
するが、落ちてきてしまう

Hくんのアイデアで膝のセ
ロハンテープを貼って、蓋を
してクラスまで持ち帰る

1 週間後の保育者のことば

H君の優しさに感動した

2 学期（11月末）の行事

一つのテーマをもとにグループ毎に創作する活動

海のボーリングGrになったH君が大活躍

〈H君のアイデア〉
転がしたボールが自動で戻ってくる仕掛け

Hくんとのかかわりを通して

- クラスという枠の中で、自己発揮できることを第一に考えていた。
- クラスという枠の中で、友だち関係を繋げよう・広げようとしていた。
- 保育者がHくんに関心を寄せて、Hくんが夢中になっていることや、Hくんの優しさに気付いたことでHくんへのまなざしや関わりが変わっていた。